

藤が丘小学校 令和2年度第2回 学校運営協議会 記録

令和3年2月25日

藤が丘小学校学校運営協議会会長 鈴木 三夫
横浜市立藤が丘小学校長 高島 聡

※今年度は、谷本中ブロックで行う「谷本中ブロック学校運営協議会推進委員会」は、第1回は書面総会、第2回は中止となりました。

第2回学校運営協議会

[日 時] : 令和3年2月24日(水) 10:00~11:00

[会 場] : Zoom (委員参加1名) &会議室 (委員参加8名・校長・副校長) 委員欠席2名

[内容及び主な意見]

○教育委員会挨拶、委嘱状のお渡し

○学校評価アンケートについて

- あいさつは、マスクのために声が聞きにくいこともある。身振り手振りなどで相手に知らせることも考えてはどうか。
- 子どもの側からみれば、朝多くの方が旗振りをしてくださるところを通過する中、全ての人にあいさつすることは難しいかもしれない。まず、大人が「あいさつをされる」側から「あいさつをする」側にまわって考えることが大切なのは、学校としては、継続してあいさつ指導を進めていく。
- 感染防止からみて、学校の取組を見直す機会になることは多かったと思う。学校HPやメール配信、YouTubeなどを用いた情報発信の受け取り数をフィードバックし、学校の今後の情報発信に生かしていくとよい。また、受け取る側のデバイスや通信環境の課題をクリアできるようにしつつ、のペーパーレス化を推進していった方が良い。学校としては、今後さらにそういった流れが加速していくことは間違いないため、その方向で進めたい。
- 学校として、GIGAスクール構想のもと、デジタル教育が本格化するのは来年度からになる。
- 昨年度からの取組の成果で、PTAはペーパーレス化を今年度大きく推進し、省力化と内容の充実を実現させていた。来年度もこのような取り組みを進めたい。
- メール配信はタイトルをみると内容がすぐ分かる見出しをさらに工夫してほしい。
- 読書についての結果が年々下がっている。学校も継続した取組を行っているが、家庭への協力を発信していくようにしたい。学級によっては、自分の興味・関心に基づいた宿題から、自然に本に親しむようになっていった。そのような学校の取組を期待したい。
- 以前は電車の中で本を読む大人がとても多かったが、現在はほとんどの人がスマホをもっている。こういった社会の変化も密接に関係している。学校は、そのような社会状況を理解した上で、読書に親しめる指導を継続していきたい。小学校の時期に本の楽しさに触れないと、成長してから本に戻ることは難しい。
- 整理整頓やお手伝いの結果が例年から下がっているのは、学校としては子どもの意識と保護者の意識の差がでているのではないかと考える。また、臨時休業時に子どもが在宅を2ヶ月以上続けていたことにも関係があるのではないかと。
- 一人ひとりの子どもの状況に寄り添い、保護者の方にも理解してもらえるような指導をさらに充実できるようにしてほしい。学校としては、その姿勢で今後も子どもたちと保護者に対応していきたい。

○令和3年度に向けて

- 令和3年度委員の委嘱について
- 行事の見直しについて